

定住・移住アンケート
結婚・出産・子育てアンケート
地元就職や進路希望アンケート
転入・転出アンケート

調査結果概要

令和元年 10 月

石 岡 市

本資料は、石岡市民を対象に実施した下記の4種類のアンケート調査から、今後人口ビジョンおよび総合戦略を策定するうえで考慮すべきと思われる結果のポイントをまとめたものです。

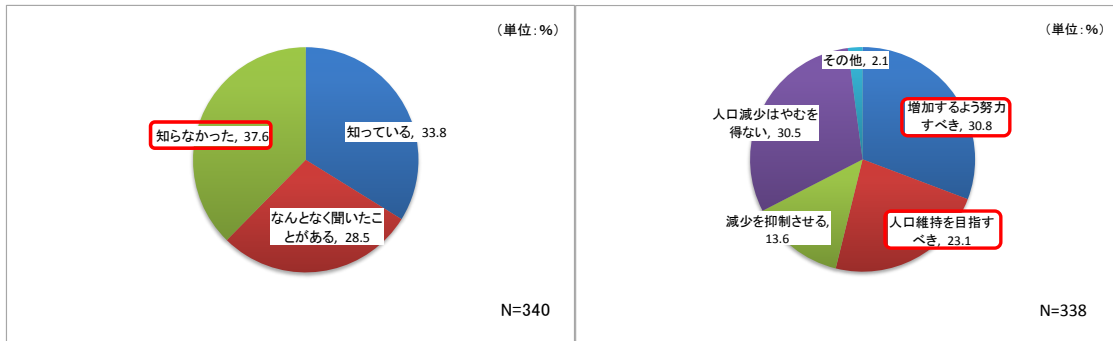
▼アンケートの配布・回収状況

項目	配布数	実施期間	配布数 回収方法	回答数 (回答率)
定住・移住	20歳～60歳代の 住民	同上	1,500世帯 郵送配布	349 (23.3%)
結婚・出産・ 子育て	20歳～40歳代の 住民	R1年 8月9日～ 9月5日	1,500世帯 郵送配布	225 (15.0%)
地元就職や 進路希望	①市内高校3年生 ②19～24歳の 住民(個人)	同上	①620 学校依頼 ②1,500人 郵送配布	①589 (95.0%) ②293 (19.5%)
転入・転出	期間内に住民票の 異動申請者	H29年およびH30年		転入 274 転出 369

1) 定住・移住に関する意識調査

①人口減少に対する意識

- 定住・移住促進を進めるうえでは、人口減少に関する危機意識を市と市民とが共有する必要があります。しかしながら、石岡市の人口減少について「知らなかった」と回答した方が約4割にも上っているのが現状です。
- 石岡市の人口減少に対する考えでは、「増加するよう努力すべき」または「人口維持を目指すべき」と回答した方が合わせて約5割以上となっており、市民の過半数は市内人口の増加・維持を望んでいると考えられます。

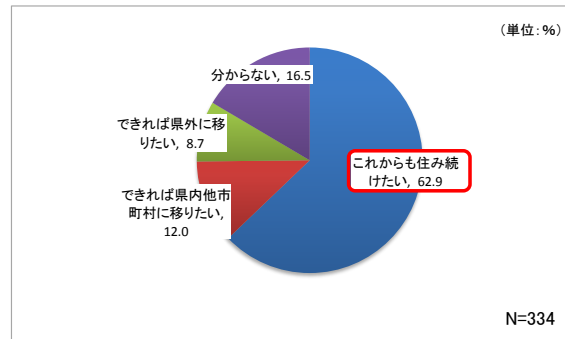


▲石岡市の人口減少に対する認知度

▲石岡市の人口減少に対する考え

②定住意向・定住のために必要なこと

- 石岡市に「これからも住み続けたい」と思っている方は約6割に上ります。
- 定住に必要なことの回答の上位は、「買物する場・飲食店が増える」、「公共交通が便利になる」、「子育ての環境が良くなる」となっています。



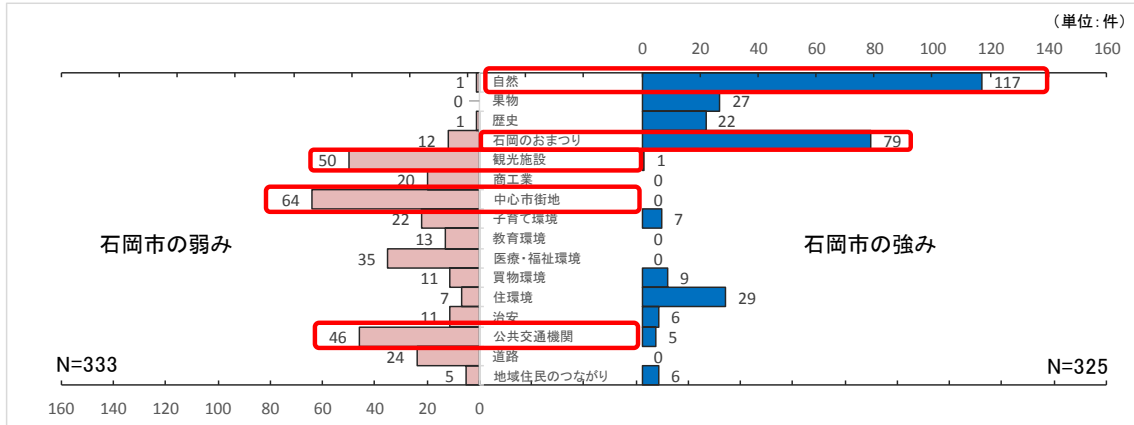
▲石岡市への定住意向



▲定住のために必要なこと

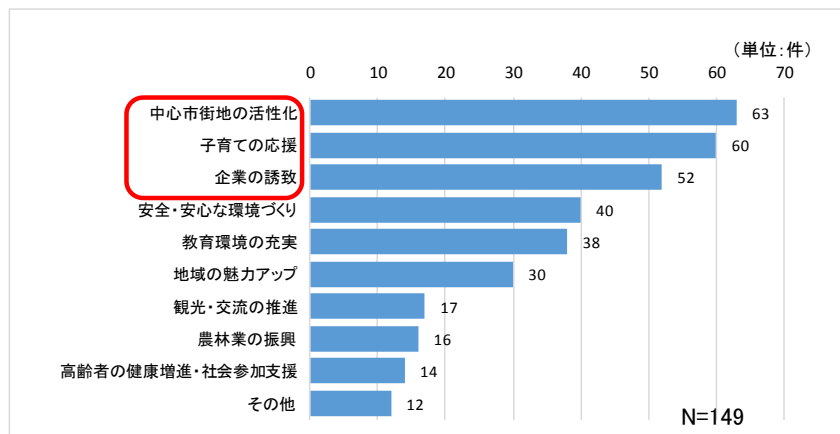
③石岡市の強み・弱み

- 本市の強みとして、「自然」や「いしおかのお祭り」などが上位に挙げられています。
- 一方で、弱みについては、「中心市街地（の衰退）」をはじめ、「観光施設」、さらに「公共交通」などが上位に挙げられています。



④定住促進のための取組で重視すべきこと

- 回答者は、今後定住促進のための取組で重視すべきこととして、「中心市街地の活性化」に加え、「子育ての応援」や「企業の誘致」を上位に挙げています。

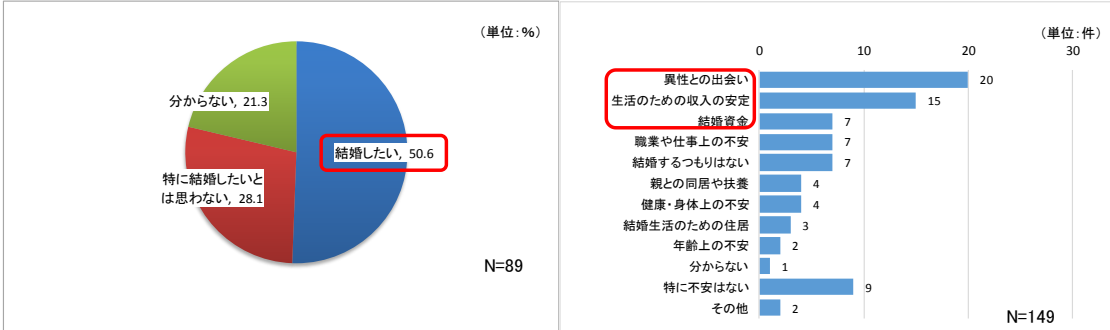


▲定住促進のための取組で重視すべきこと

2) 結婚・出産・子育てに関する意識調査

①結婚に対する意識（独身者のみ）

- 独身者の5割が「結婚したい」と思っています。
- 結婚に関する不安では、「異性との出会い」が最多となっています。また、「生活のための収入の安定」「結婚資金」といった経済的な不安が上位となっています。

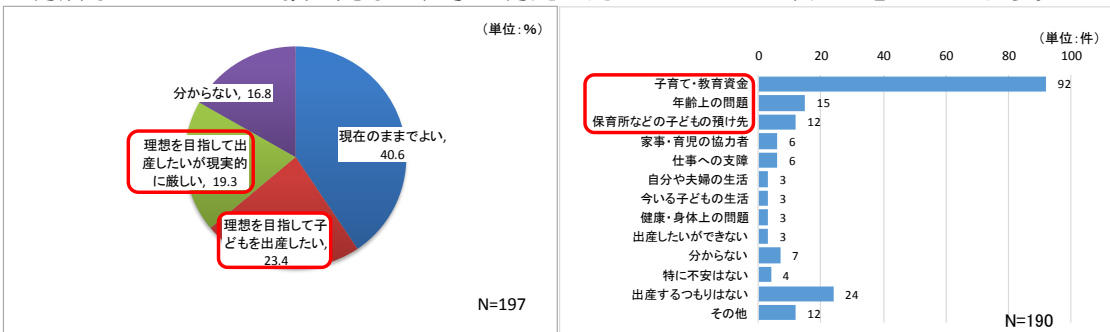


▲結婚に関する意向

▲結婚に関する不安

②出産・子育てに関する意識

- 今後の出産に関しては、4割の方が現在のままでよいと考えています。また、約4割の方が理想を目指して子どもを出産したいと考えていますが、その半数は現実的に厳しいと感じています。
- 出産・育児に対する不安では、子育て・教育に関する経済的な不安が圧倒的に多く、保育所などの子どもの預け先など仕事と育児の両立についても不安を感じています。



▲出産・育児に関する意向

▲出産・育児に対しての不安

- 結婚・出産・子育てに対しての不安を解消し、希望をかなえるために取り組むべきこととして、「若い世代の経済的安定」や、「仕事と子育ての両立による働き方の見直し」、さらに「結婚につながる出会いの機会創出」などが重視されています。

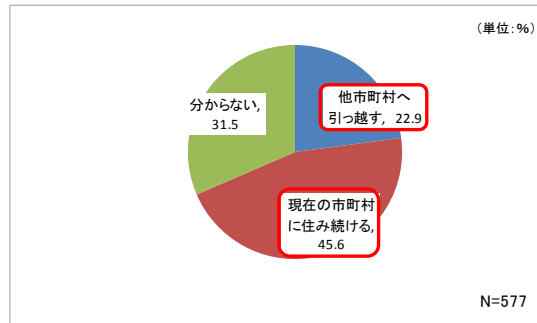


▲結婚・出産・子育てに関する取組で重視すべきこと

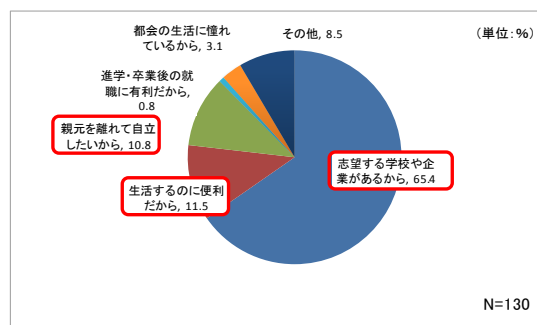
3) 地元就職や進路希望に関する意識調査

①市内高校生の定住・移住意向

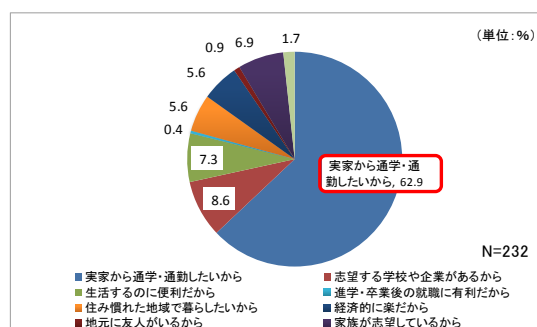
- 市内高校に通う高校生は、希望する進路に進んだ場合に、他市町村へ転出したい方が約2割、現在の市町村に住み続けたい方が4割以上となっています。
- 転出したい理由で最も多いのは、「志望する学校や企業が市外にあるから」で、6割以上を占めています。また、生活するうえでの便利さや、親からの自立の回答も約1割あります。
- 転出しない(住み続けたい)理由では、約6割が「実家から通学・通勤したいから」となっています。



▲高校生の定住・移住意向



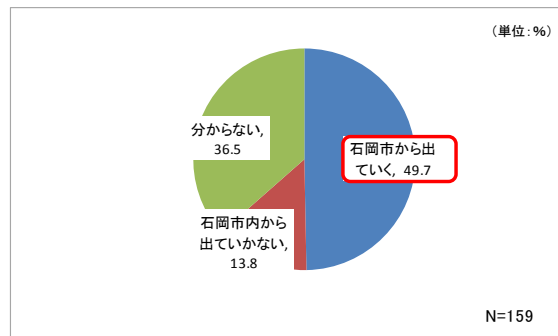
▲転出したい理由



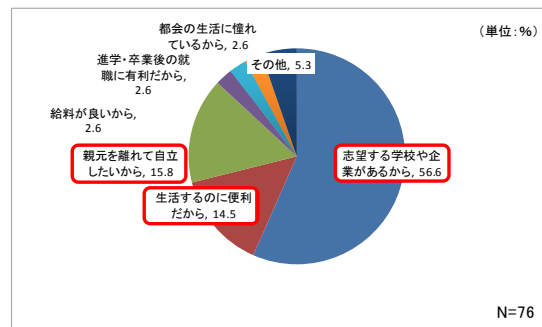
▲転出しない理由

②若者世代（学生）の定住・移住意向

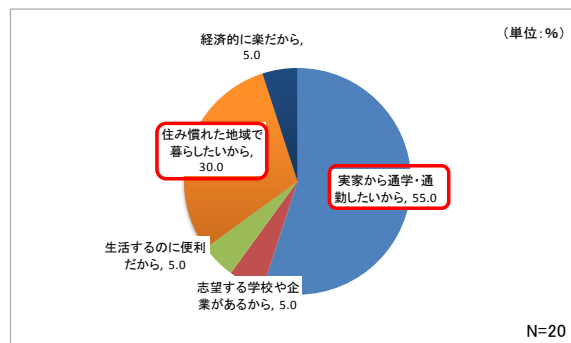
- 一方、石岡市内に居住する若者世代のうち、大学生・専門学校等の学生に対し、高校生と同様の質問をしたところ、石岡市内から転出したい人が約5割となっています。
- 石岡市内から転出したい理由で最も多いのは、「志望する学校や企業が市外にあるから」で、過半数を占めています。また、生活するうえでの便利さや、親からの自立も、約1割あります。
- 転出しない（住み続けたい）理由では、5割以上が「実家から通学・通勤したいから」となっています。また、「住み慣れた地域で暮らしたいから」が約3割となっており、地元志向の若者も少なくないことがわかります。



▲大学生・専門学校生等の定住・移住意向



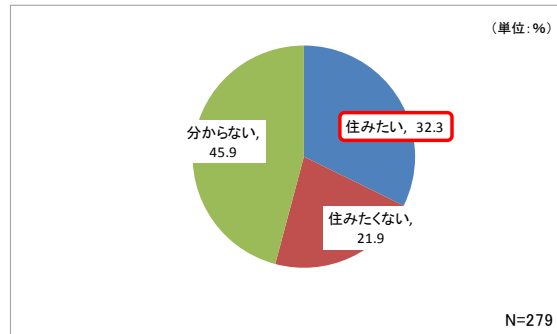
▲転出したい理由



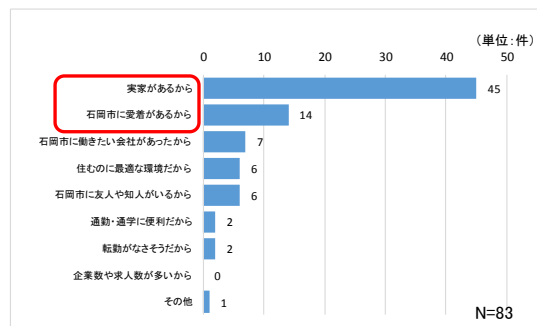
▲転出しない理由

③若者世代（学生・社会人）の定住（Uターン）意向

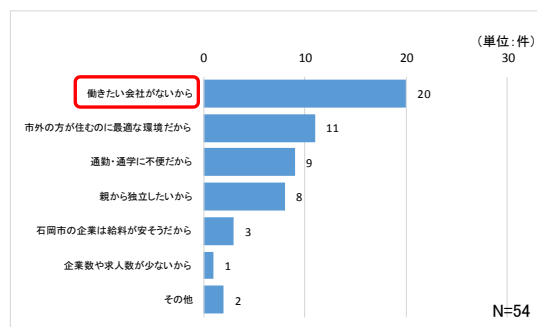
- 主に石岡市内に居住する若者世代（学生・社会人）のうち、将来的に石岡市に住みたい（または戻りたい）と回答した方は約3割、住みたくないと回答した方は約2割となっています。
- 住みたい（または戻りたい）と回答した理由で最も多いのは、「実家があるから」となっています。また、「石岡市に愛着がある」も上位に位置しています。
- 住みたくないと回答した理由では、「働きたい会社がないから」が最も多くなっています。その他、「他市町村の方が住みやすい」、「通勤・通学が不便」といった理由も上位となっています。



▲若者世代の定住（Uターン）意向



▲定住（Uターン）したい理由



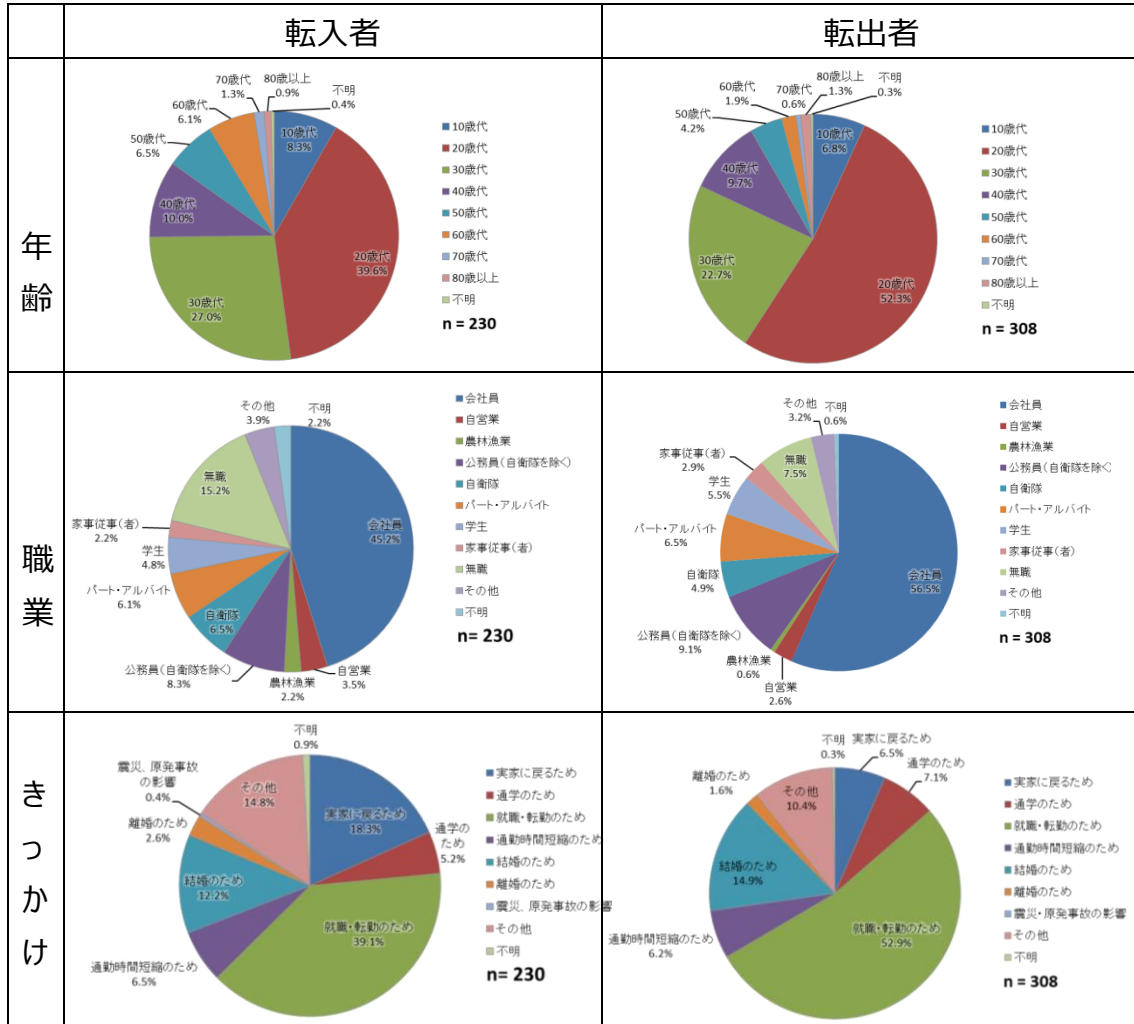
▲定住（Uターン）したくない理由

4) 転入・転出に関する意識調査

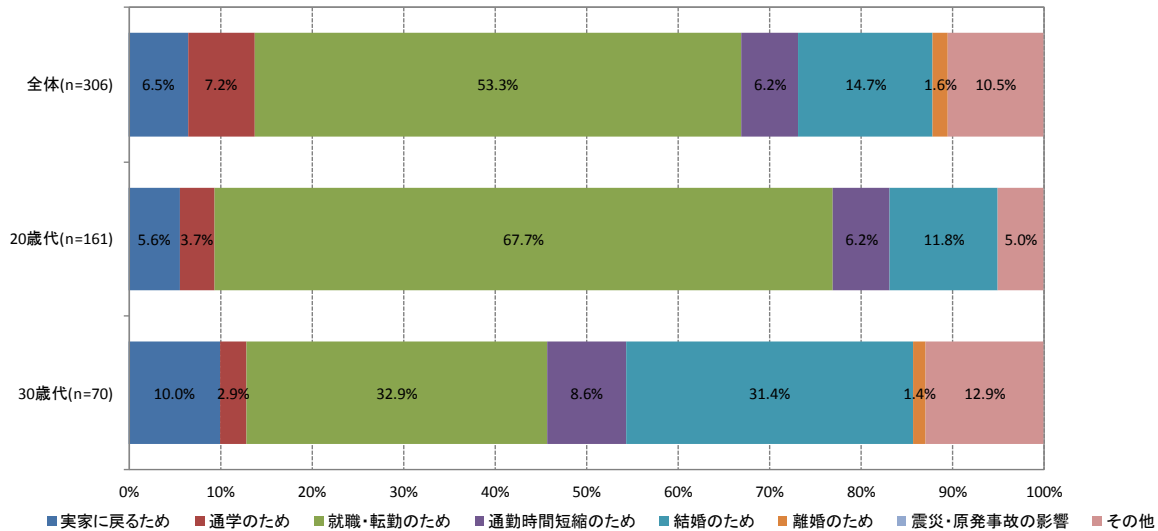
① 転出入のきっかけ

- ・転出入者の年齢構成と職業では、転出入者の大半が 20 代もしくは 30 代の会社員となっています。また、転出入のきっかけはどちらも約半数が就職・転勤または通学となっています。
- ・この結果から、石岡市に転入又は石岡市から転出する人の多くが仕事もしくは学業関連で引っ越ししていることが伺えます。しかしながら、就業・転職のためとの回答は転入者が約 4 割であるのに対し、転出者では約 5 割と、転出者が転入者を 1 割程度上回っています。

▼石岡市の転入・転出アンケート回答者の属性と転出入のきっかけ



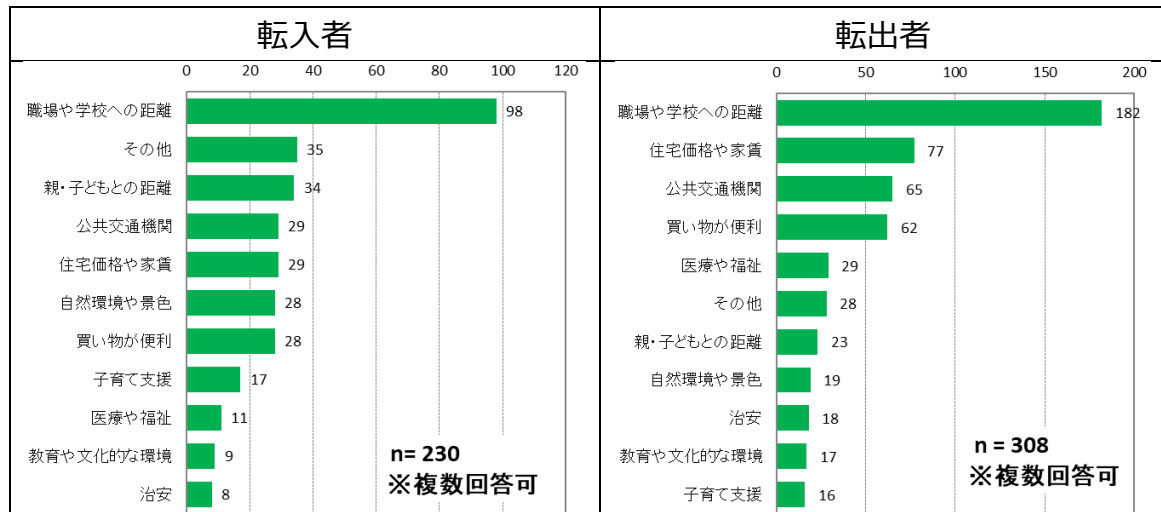
- この結果について、20歳代と30歳代に絞って転出のきっかけを確認すると、特に30歳代で「結婚のため」を理由とした転出の割合が多くなっています（約3割）。
- また、特に20歳代において「就職・転勤のため」を理由とした転出が多くなっています（約7割）。



▲石岡市から転出する人の20歳代・30歳代の転出のきっかけ

②転出入先の居住地を決める際に重視する点

- 転出入先の居住地を決める際に重視する点では、転入者・転出者ともに「職場や学校への距離」が他の項目に比べ非常に多くなっています。この結果からは、石岡市にとって社会減を増加に転じさせる有効な施策として、利便性の高い通勤・通学手段の構築が考えられます。



▲住まいを決めるときに重視する点 (H29.H30 転入出者アンケートより)